

信州大学

平成31年度学生募集要項

工学部 第3年次編入学

【一般選抜】 【推薦選抜】

物質化学科  
電子情報システム工学科  
水環境・土木工学科  
機械システム工学科  
建築学科



**SHINSHU  
UNIVERSITY**

一般選抜・推薦選抜【共通】※	
出願期間	平成30年5月14日（月）～5月18日（金）
試験日	平成30年6月1日（金）
合格発表	平成30年6月11日（月） 14時
入学確約書提出期限	平成30年7月3日（火）
入学手続期間	平成31年3月1日（金）～3月8日（金）

※二つの選抜の重複出願はできません。

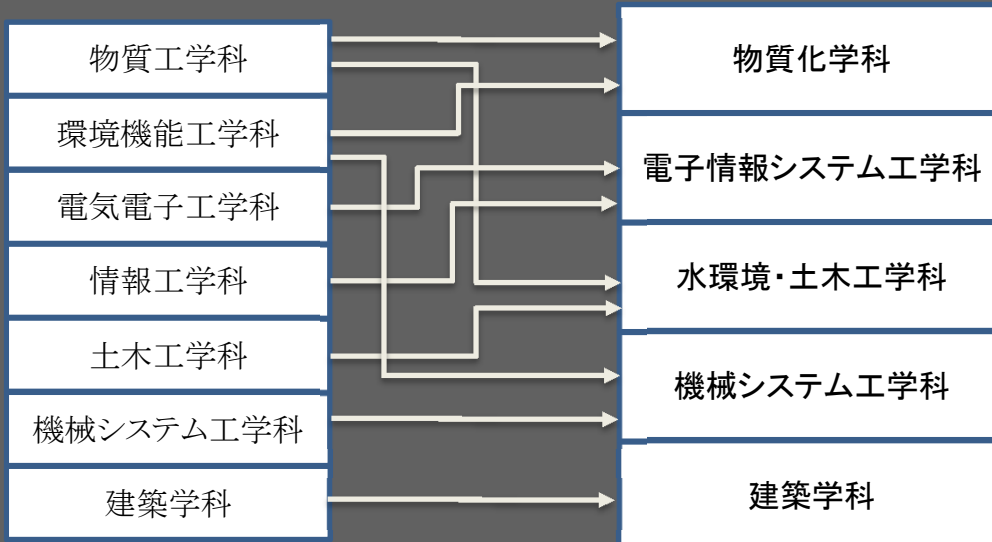
◆信州大学工学部ホームページに、「入試情報」「各学科の情報」を掲載しています。

信州大学工学部

検索

## 信州大学工学部の学科改組について

信州大学工学部は従来の7学科から新たな5学科に再編されました。  
第3年次編入学は、平成30年度入学生から、新学科対象となります。



◆この募集要項は、入学手続が完了するまで大切に保管してください。

また、入試情報の開示を求める際に必要となるページがありますので、情報開示を希望する方は、開示請求を済ませるまでは、大切に保管してください。

◆この募集要項の請求方法

### 【郵送による請求】

返信用封筒〔角形2号封筒（24cm×33.2cm）に請求者の郵便番号、住所、氏名を記入し、250円分<sup>※</sup>の切手を貼ったもの〕を別の封筒に入れ、その封筒の表に「第3年次編入学募集要項請求」と朱書の上、下記あて先に請求してください。

（<sup>※</sup>工学部案内の同封も希望する場合は600円）

<募集要項請求先>

〒380-8553 長野市若里4-17-1 信州大学工学部 入試事務室 TEL026-269-5055

目 次

1	アドミッション・ポリシー	2
2	第3年次編入学の趣旨と注意点	4
3	募集人員	4
4	選抜区分	4
5	学科の選定	4
◆	<b>一般選抜</b>	5～9
6	出願資格	6
7	出願期間	6
8	出願方法	6
9	出願書類等	6
10	選抜方法等	8
11	試験日時及び試験場	8
12	合格発表	9
13	入学確約書	9
◆	<b>推薦選抜</b>	11～14
6	出願資格及び推薦要件	12
7	出願期間	12
8	出願方法	12
9	出願書類等	12
10	選抜方法等	13
11	試験日時及び試験場	14
12	合格発表	14
13	入学確約書	14
◇	<b>共通事項（一般選抜と推薦選抜の共通事項）</b>	15～17
14	入学手続	15
15	追加合格	15
16	編入学前の既修得単位の認定等	15
17	個人情報の利用	15
18	入試情報の開示	16
19	障害等のある方の事前相談	16
20	その他	17
	<b>【添付書類等】</b>	巻末
○	「入学志願票」・「受験票」・「写真票」	
○	「自己申告書」	
○	「推薦書」 ……推薦選抜の志願者のみ	
○	「出願資格証明書」（一般選抜の出願資格④又は⑧該当者：専修学校専門課程他）	
○	「在学期間証明書」（一般選抜の出願資格⑦該当者：大学）	
○	「入試情報開示請求願」	
○	「A票：入学検定料納付確認書」・「B票：入学検定料領収書」・「C票：振込依頼書」	
○	「ラベル票」	
○	「願書送付用封筒（角形A4号）」（志願者から信州大学工学部入試事務室あて）	
○	「受験票送付用封筒（長形3号）」（信州大学工学部入試事務室から志願者あて）	

# 1 アドミッション・ポリシー

## ◎信州大学のアドミッション・ポリシー

信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探求し解決する能力を備えるとともに、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てることを教育の目標にしています。したがって、この教育を受けるために必要な高等学校修了段階の基礎学力を有する人を求めています。

### 【大学入学までに履修すべき教科・科目】

在籍する高等学校等が、学習指導要領に従って定める教育課程表に沿って、履修するすべての教科・科目について、十分に履修し、相応の学力を身につけていることが望まれます。また、志望する学部や学科ごとに、入学後の授業内容を理解するために履修が必要な教科・科目が示されている場合は、それらの科目の内容を十分に理解していることが望まれます。

## ◎工学部のアドミッション・ポリシー

信州大学工学部は、豊かな教養と工学の幅広い専門知識を持ち、科学技術と環境保全との調和に深く関心を持って、社会の様々な課題を発見・解決できる工学系高度専門職業人の養成を目標にしています。そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている
2. 工学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、物理学、化学、生物学、語学などに優れている
3. 科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持つとともに論理的思考力・判断力・表現力等の素養を持ち、これらについて学びたいと考えている
4. 実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる
5. 向上心があり、自ら考え行動することができる
6. 工学に関わる技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献する明確な目的意識を持っている
7. 自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する

上記1～7の素養を持つ学生を幅広く選抜するために、信州大学工学部では以下の入試を実施します。

### 【一般入試（前期日程）】

～省略～

### 【一般入試（後期日程）】

～省略～

### 【推薦入試 I（大学入試センター試験を課さない入試）】

～省略～

### 【帰国子女入試】

～省略～

### 【私費外国人留学生入試】

～省略～

### 【社会人入試】

～省略～

### 【第3年次編入学入試】

大学の基礎教育に相当する課程を、異なる教育環境で過ごしてきた学生を3年次から受け入れることで、在学生への知的刺激が生まれることも期待し、高等専門学校、短期大学、他大学等からの学生を受け入れています。第3年次編入学入試では、学力試験あるいは「口述試問を含む面接」を実施し、1～7に対応した能力を判定します。

### 《大学入学までに履修すべき教科・科目等》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解し、身につけておくことが望まれます。

数学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B
理科	物理基礎，物理，化学基礎，化学
英語	十分な読解力，表現力，会話能力

●物質化学科の求める学生像

- 1 化学と科学技術に興味があり、それらに関わることに喜びを感じる人
- 2 化学の専門知識・技術を活用して社会に貢献したいと願う人
- 3 自分で目標を立て、それに向かって計画的かつ継続的に取り組める人
- 4 情報発信や収集に必要な国語や英語の言語力を有する人
- 5 様々な考え方を理解し、主体的かつ協調的に勉学や研究を進められる人

●電子情報システム工学科の求める学生像

- 1 電気電子、情報、通信の各分野において、将来、技術を社会のために役立てたいと思っており、その目標に向かって行動できる人
- 2 これら3分野の先端研究に興味を覚え、自分でもやってみたいという意欲を持っている人
- 3 プログラミングや電子工作が好きな人
- 4 電子機器やプログラムのしくみ・動作に興味がある人
- 5 コンピュータの基礎から応用までを学びたい人
- 6 コンピュータのソフトウェア、ハードウェアに興味がある人
- 7 向上心があり、自ら考え、自ら行動することができる人

●水環境・土木工学科の求める学生像

- 1 持続可能で健全な水資源の確保と保全および管理・利用に貢献したい人
- 2 水再生・造水技術に興味がある人
- 3 水環境問題や自然との共生に関心があり、学ぶ意欲のある人
- 4 安全・安心で快適な施設・環境・まちづくりに興味がある人
- 5 環境問題の解明や修復技術、防災・減災に関心があり、学ぶ意欲のある人
- 6 将来、社会と地域の発展のために貢献したい人

●機械システム工学科の求める学生像

- 1 科学技術、工学、ものづくり、環境科学に対する情熱を常に失わず、実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- 2 技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献したいという強い意欲を持つ人
- 3 科学技術・工学の発展が社会にもたらすメリットとデメリットを十分に理解し、社会および自然環境に配慮した「人にやさしいものづくり」を目指す人
- 4 優れた技術力・知識を生かして、日本国内のみならず、国際的なフィールドでその能力を発揮できる技術者・研究者を目指す人

●建築学科の求める学生像

- 1 学ぶ意欲と根気があり、試行錯誤をいとわない人
- 2 人の考えをふまえ、自分の考えを表現することを好む人
- 3 環境の保全に関心がある人
- 4 美しい事物への探求心がある人
- 5 自然科学系科目を十分に理解し、人文・社会系科目を苦手とせず、幅広い視野と開かれた感受性をもつ人

## 2 第3年次編入学の趣旨と注意点

大学初年次に相応する基礎科目を、異なる教育環境で過ごしてきた学生を受け入れるために行います。そのことにより、在学生への知的刺激が生まれることも期待しています。第3年次編入学では、高等専門学校、短期大学、他大学等からの学生を受け入れています。

(1) 編入学が許可された場合は、平成31年4月に第3年次へ編入となります。ただし、出身学校での履修状況によっては、卒業までに要する期間が2年を超える場合もあります。

※ 出身学校で修得した単位の認定は、翌年3月に提出していただく「出身学校の成績証明書」及び「シラバス（授業内容）」に基づいて行います。出身学校で修得した単位がすべて認定されるとは限りません。例えば、出身学科と合格学科が同系統ではない場合などは、認定単位が少なく、2年間で卒業できない可能性が高まります。

《出身学校で修得した単位の認定スケジュール》

平成31年2月中旬 信州大学から入学手続関係書類（詳細通知）を送付

平成31年3月中旬 出身学校の成績証明書及びシラバス提出期限

平成31年3月下旬～4月初め 信州大学で単位認定審査

平成31年4月初旬 単位認定結果通知交付

※ 日程は変更になる可能性があります。入学手続関係書類の通知に従ってください。

(2) 出身学校での履修状況により、卒業要件に不足する科目がある場合は、信州大学全学教育機構（松本市）へ出向いて受講（1年生対象科目）することが必要となる場合もあります。

※ 例えば、専修学校出身者や、高等学校から高等専門学校に編入学した方などは、大学1年次履修対象の基礎科目の単位（外国語や教養科目等）を修得していない場合があります。松本市への通学が必要になるとともに、2年間で卒業できない可能性が高まります。

また、信州大学工学部では、3年次終了時に4年次への進級関門を設けています。

## 3 募集人員

学 科	選抜区分		募集人員
	一般選抜	推薦選抜	
物質化学科	○	○	} 20人 (選抜区分ごとの 人数設定はなし)
電子情報システム工学科	○	○	
水環境・土木工学科	○	○	
機械システム工学科	○	○	
建築学科	○	○	

※ 前年度の志願者数等実施状況は、信州大学工学部ホームページ「入試情報」に掲載しています。

## 4 選抜区分

入学者の選抜は、「一般選抜」と「推薦選抜」の二つの方法で行います。

出願期間・試験日は、「一般選抜」, 「推薦選抜」ともに同じです。

二つの選抜の重複出願はできません。日程及び選抜方法等の詳細は後の該当ページを参照してください。

## 5 学科の選定

志望学科は、出身学校において専攻した学科と同系統であることを原則とします。

(前項2「第3年次編入学の趣旨と注意点」(1)に関連する。)

ただし、水環境・土木工学科を志望する場合は、出身学科が同系統である必要はありません。

なお、信州大学工学部の学生が出願する場合は、現在在学中の学科には出願することができません。

(改組前の学科に所属の学生は、信州大学工学部入試事務室にお問い合わせください。)

# 一般選抜

物質化学科

電子情報システム工学科

水環境・土木工学科

機械システム工学科

建築学科

## 6 出願資格

出願資格のある方は、次の各号のいずれかに該当し、合格した場合に入学を確約できる方とします。

- ① 高等専門学校又は短期大学を卒業した方（平成31年3月までに卒業見込みの方を含む。）
- ② 外国の短期大学を卒業した方及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した方（学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項）（平成31年3月までに卒業見込み又は修了見込みの方を含む。）
- ③ 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した方（平成31年3月までに修了見込みの方を含む。）
- ④ 専修学校の専門課程を修了した方で、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる方（平成31年3月までに修了見込みの方を含む。）
- ⑤ 大学（修業年限4年以上。以下同じ。）を卒業した方（平成31年3月までに卒業見込みの方を含む。）
- ⑥ 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方（平成31年3月までに授与される見込みの方を含む。）
- ⑦ 日本の大学において2年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上を修得した方、又は、平成31年3月までに修得見込みの方（平成31年3月末に2年以上在学となる方を含む。）
- ⑧ 高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科又は特別支援学校の専攻科の課程を修了した方で、学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる方（平成31年3月までに修了見込みの方を含む。）

(注) 出願資格③により出願しようとする方は、資格審査を行うので平成30年5月7日（月）までに、信州大学工学部入試事務室に必ず問い合わせてください。

## 7 出願期間

**平成30年5月14日（月）から5月18日（金）まで**

受付時間は、8時30分から17時までとします。

郵送による場合は、5月18日（金）までの消印があるものは受け付けます。

## 8 出願方法

**出願書類等は、この募集要項に添付する封筒に一括して入れ、出願期間内に信州大学工学部入試事務室に郵送（簡易書留）又は持参してください。**

提出先： 信州大学工学部入試事務室

〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1 TEL026-269-5055

## 9 出願書類等

出願書類等	摘 要	
入学志願票 受験票 写真票	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。 出願前3か月以内に撮影した正面・無帽・上半身・背景なしの写真（縦4cm×横3cm、白黒・カラーは問いません。）を指定欄に貼ってください。（試験場で不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。）	
★調査書又は成績証明書等	高等専門学校を卒業見込みの方 短期大学を卒業見込みの方 専修学校を修了（見込み）の方 高等学校等の専攻科の課程を修了（見込み）の方	調査書 （学校に書式がない場合は成績証明書）
	高等専門学校、短期大学、大学を卒業の方	成績証明書又は調査書
	大学在学中の方	成績証明書及び単位修得見込証明書又は履修証明書（平成31年3月までに62単位以上を修得可能であることが確認できるもの）
	出願資格⑥の方	関連する成績証明書 見込みの方は履修証明書等
★卒業（見込）証明書 （在学期間証明書）	出願資格⑥の方は、学位授与証明書又は学位授与見込証明書を提出してください。 出願資格⑦により出願する方は、在学期間証明書を提出してください。（添付の用紙を使用してください。）	

★日本語又は英語以外で作成された書類は、日本語訳（又は英語訳）を添付してください。



自己申告書	この募集要項に添付する用紙に「記入要領」を参照して記入してください。
入学検定料 納付確認書 (A票)	<p>1) 入学検定料30,000円をこの募集要項に添付する振込依頼書(C票)を使用して、平成30年5月7日(月)から平成30年5月18日(金)までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。</p> <p>なお、郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みはできません。また、ATM(現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。</p> <p>2) 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書(A票)を提出してください。</p> <p>また、「取扱金融機関収納印」欄には、平成30年5月18日(出願期間最終日)までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。</p> <p>3) 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。</p> <p>※ 国費外国人留学生は入学検定料の支払いが不要のため、国費外国人留学生証明書を提出してください。</p>
受験票送付用 封筒	この募集要項に添付する封筒(長形3号:12cm×23.5cm)に、志願者の日本国内の郵便番号、住所、氏名を明記し、372円分の切手(速達料を含む。)を貼ってください。
ラベル票	この募集要項に添付する用紙に、所要事項を記入してください。
出願資格 証明書	出願資格④又は⑧の方は提出してください。 (修了する(した)課程が文部科学大臣の定める基準を満たすものであることについて出身学校が発行する証明書。出身学校で書式が無い場合は、この募集要項に添付する用紙を使用してください。)
「住民票の写し」 又は「パスポート」 のコピー	<p><b>【外国人の志願者の方のみ】</b></p> <p>現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」(居住している市区町村長が発行するもの)1通を提出してください。</p> <p>それ以外の方は、「パスポート」のコピー(氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分)を提出してください。</p>

**【出願に際しての注意事項】**

- ・ 信州大学工学部で実施する第3年次編入学「推薦選抜」への重複出願はできません。
- ・ 出願書類等に不備があるものは受理しません。
- ・ 黒のボールペン又はインクで記入してください。  
誤って記入した場合は、訂正箇所を二重線で消してください。
- ・ 調査書は、出身学校長が文部科学省の定めた様式(又はこれに準じて作成した様式)により作成のうえ、厳封したもののみを有効とします。
- ・ 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。
- ・ 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。  
なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、本人の請求により納入された検定料(二重に振り込んだ場合は重複して納入された分)の返還が可能です。返還手続きについては、本学のホームページ(入試情報/編入学入試/入学検定料返還手続)をご覧ください。  
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)
- ・ 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ・ 出願後の志望学科等の変更は認めません。
- ・ 出願書類提出後、受信場所を変更した場合は、直ちに信州大学工学部入試事務室に届け出てください。
- ・ 出願書類等の提出後、7日を経過しても受験票が本人へ到着しない場合は、信州大学工学部入試事務室に電話で問い合わせてください。

## 10 選抜方法等

次のとおり選抜を行います。

### (1) 選抜方法及び配点

学 科	選抜方法 ※下段数字は配点の内訳	配点		
物質化学科	「面接（英語・化学の基礎学力に関する口述試問を含みます。）」及び書類審査	100		
電子情報システム工学科	「数学」 30	「面接（口述試問）」 60	書類審査 10	100
水環境・土木工学科	「面接（大学1年レベルの数学に関する口述試問を含みます。）」及び書類審査	100		
機械システム工学科	「数学」 80	書類審査 20	100	
建築学科	「スケッチ」「面接」 70	書類審査 30	100	

### (2) 採点・評価基準

学 科	評 価 の 要 点
物質化学科	学習意欲・積極性・活動性・将来性等の人物面，英語・化学の基礎学力，面接での表現力を評価
電子情報システム工学科	基礎学力（英語・数学・専門科目）と積極性・将来性等の人物面を総合評価。 専門科目は，電磁気学，回路基礎，情報基礎のいずれかを選択可。 回路基礎の出題内容：電気回路，電子回路，論理回路等。 情報基礎の出題内容：プログラミング，データ構造とアルゴリズム等。
水環境・土木工学科	学習意欲，積極性，基礎学力，課外活動を総合評価
機械システム工学科	数学の学力及び出願書類の内容を総合的に評価
建築学科	スケッチの能力に加え，積極性や個性などの人物面，理数系学力，建築に対する関心の高さ及び学習や諸活動の履歴を総合的に評価

### (3) 合否判定基準

上記（1）の試験結果と出願書類の内容を総合評価します。

## 11 試験日時及び試験場

### (1) 試験日時

期日：平成30年6月1日（金） ※試験当日は，「8:40」までに集合してください。

学 科	時 間	内 容 等
物質化学科	9:00～	「面接」
水環境・土木工学科		
機械システム工学科	9:00～10:30	「数学」 出題範囲：微分積分（極限，1変数及び多変数関数の微積分），線形代数（連立1次方程式，階数，逆行列，行列式，対角化）
電子情報システム工学科		
建築学科	9:00～10:00	「スケッチ」
	スケッチ終了後	「面接」

## (2) 試験場

長野市若里4-17-1 信州大学工学部

※受験の際には、必ず受験票を携行してください。

## 12 合格発表

---

平成30年6月11日(月) 14時

信州大学工学部構内掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を発送し、公式発表とします。(不合格の方には通知しません。)

なお、信州大学工学部ホームページにも合格者の受験番号を速報掲載します。

また、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

## 13 入学確約書

---

合格者は、平成30年7月3日(火)17時までに、「入学確約書」(用紙は合格通知書に同封します。)を提出してください。

なお、入学確約書を提出されない方は、本学に入学の意志がないものとして取り扱います。

### P15「共通事項」へ続く

一般選抜と推薦選抜の共通事項が、15ページ以降にありますので、  
そちらも必ず読んでください。



# 推薦選抜

物質化学科

電子情報システム工学科

水環境・土木工学科

機械システム工学科

建築学科

## 6 出願資格及び推薦要件

高等専門学校を平成31年3月までに卒業見込みの方で、出身学校長が優れていると認め推薦する方。なお、学校長が本学部に推薦できる人数に制限はありません。  
また、学業成績に関する推薦基準の目安については、下表のとおりとします。（あくまで目安であり、出願資格を制限するものではありません。）

学科	推薦基準の目安
機械システム工学科	成績の順位が上位30%以内
水環境・土木工学科	成績の順位が上位50%以内
物質化学科 電子情報システム工学科 建築学科	目安は設けていません。

## 7 出願期間

平成30年5月14日（月）から5月18日（金）まで

受付時間は、8時30分から17時までとします。

郵送による場合は、5月18日（金）までの消印があるものは受け付けます。

## 8 出願方法

出願書類等は、この募集要項に添付する封筒に一括して入れ、出願期間内に信州大学工学部入試事務室に郵送（簡易書留）又は持参してください。

提出先：信州大学工学部入試事務室

〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1 TEL026-269-5055

## 9 出願書類等

出願書類等	摘 要
入学志願票 受験票 写真票	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。 出願前3か月以内に撮影した正面・無帽・上半身・背景なしの写真（縦4cm×横3cm、白黒・カラーは問いません。）を指定欄に貼ってください。（試験場で不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。）
自己申告書	この募集要項に添付する用紙に「記入要領」を参照して記入してください。
調査書	出身学校長が作成し、厳封したものでなければなりません。 （学校に書式がない場合は成績証明書）
推薦書	出身学校長が作成し、厳封したものでなければなりません。 この募集要項に添付する用紙を使用してください。
入学検定料 納付確認書 （A票）	1）入学検定料30,000円をこの募集要項に添付する振込依頼書（C票）を使用して、平成30年5月7日（月）から平成30年5月18日（金）までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。 なお、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。また、ATM（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 2）振込み後、納付確認書（A票）及び領収書（B票）を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書（A票）を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄には、平成30年5月18日（出願期間最終日）までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 3）出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。 ※ 国費外国人留学生は入学検定料の支払いが不要のため、国費外国人留学生証明書を提出してください。
受験票送付用 封筒	この募集要項に添付する封筒（長形3号：12cm×23.5cm）に、志願者の日本国内の郵便番号、住所、氏名を明記し、372円分の切手（速達料を含む。）を貼ってください。

ラベル票	この募集要項に添付する用紙に、所要事項を記入してください。
「住民票の写し」 又は「パスポート」 のコピー	<p>【外国人の志願者の方のみ】</p> <p>現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」（居住している市区町村長が発行するもの）1通を提出してください。</p> <p>それ以外の方は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分）を提出してください。</p>

#### 【出願に際しての注意事項】

- ・ 信州大学工学部で実施する第3年次編入学「一般選抜」への重複出願はできません。
- ・ 出願書類等に不備があるものは受理しません。
- ・ 黒のボールペン又はインクで記入してください。  
誤って記入した場合は、訂正箇所を二重線で消してください。
- ・ 調査書は、出身学校長が文部科学省の定めた様式（又はこれに準じて作成した様式）により作成のうえ、厳封したもののみを有効とします。
- ・ 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。
- ・ 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。  
なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報／編入学入試／入学検定料返還手続）をご覧ください。  
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)
- ・ 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ・ 出願後の志望学科の変更は認めません。
- ・ 出願書類提出後、受信場所を変更した場合は、直ちに信州大学工学部入試事務室に届け出てください。
- ・ 出願書類等の提出後、7日を経過しても受験票が本人へ到着しない場合は、信州大学工学部入試事務室に電話で問い合わせてください。

## 10 選抜方法等

次のとおり選抜を行います。

### (1) 選抜方法及び配点

	選抜方法	配点
物質化学科	「面接（英語・化学の基礎学力に関する口述試問を含みます。）」及び書類審査	100
電子情報システム工学科 水環境・土木工学科 機械システム工学科 建築学科	面接（口述試問）及び書類審査	100

### (2) 採点・評価基準

学 科	評 価 の 要 点
物質化学科	学習意欲・積極性・活動性・将来性等の人物面、英語・化学の基礎学力、面接での表現力を評価
電子情報システム工学科	基礎学力（英語・数学・専門科目）と積極性・将来性等の人物面を総合評価。 専門科目は、電磁気学、回路基礎、情報基礎のいずれかを選択可。 回路基礎の出題内容：電気回路、電子回路、論理回路等。 情報基礎の出題内容：プログラミング、データ構造とアルゴリズム等。
水環境・土木工学科	学習意欲、積極性、基礎学力、課外活動を総合評価
機械システム工学科	目的意識・意欲及び基礎学力・論理的思考力の高さを総合評価
建築学科	積極性や個性などの人物面、理数系学力、建築に対する関心の高さ及び学習や諸活動の履歴を総合的に評価

**(3) 合否判定基準**

面接と出願書類の内容を総合評価します。

**11 試験日時及び試験場**

---

**(1) 試験日時**

期日：**平成30年6月1日(金)** ※試験当日は、「8:40」までに集合してください。

学 科	時 間	内 容 等
全 学 科	9:00～	「面 接」

**(2) 試験場**

長野市若里4-17-1 信州大学工学部

※受験の際には、必ず受験票を携行してください。

**12 合格発表**

---

平成30年6月11日(月) 14時

信州大学工学部構内掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を、推薦校宛に合否文書を発送し、公式発表とします。(不合格の方には通知しません。)

なお、信州大学工学部ホームページにも合格者の受験番号を速報掲載します。

また、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

**13 入学確約書**

---

合格者は、平成30年7月3日(火)17時までに、「入学確約書」(用紙は合格通知書に同封します。)を提出してください。

なお、入学確約書を提出されない方は、本学に入学の意志がないものとして取り扱います。

**P15「共通事項」へ続く**

**一般選抜と推薦選抜の共通事項が、15ページ以降にありますので、  
そちらも必ず読んでください。**



## 14 入学手続

- (1) 入学手続に必要な提出書類については、入学確約書を提出した方に対し、平成31年2月下旬頃に改めて通知いたします。
- ・入学手続期間  
平成31年3月1日(金)～平成31年3月8日(金) 締切日の17時まで必着
- ※ 持参による受付は、8時30分から17時までとし、土曜日と日曜日は受け付けません。
- (2) 納付金の納入等
- ① 初年度納付金(入学金・授業料)の額
    - ア. 入学金 282,000円
    - イ. 授業料 (前期) 267,900円 (後期) 267,900円
- (注) 金額は平成29年9月現在の額です。入学時及び在学中に入学金及び授業料が改定された場合には、改定時から新入学金及び新授業料が適用になります。納付金の額及び納付の方法については、入学手続書類送付時に通知します。
- ② 既納の入学金は、どのような理由があってもお返しできません。
  - ③ 入学金・授業料の納付が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度がありますので、希望される方は、入学手続書類送付時に同封される入学金免除、授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。
- (3) 手続に当たっての注意事項
- ① 入学手続書類を受領したら、なるべく早く入学手続を行ってください。
  - ② 入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。
- (4) 推薦による選抜において入学しなかった場合、その事情によっては、翌年度以降当該学校長からの推薦を受理しないことがあります。

## 15 追加合格

入学確約書提出締め切り後、及び、入学手続締め切り後に募集人員に欠員が生じた場合には、平成31年3月15日(金)までの間に、合格者を追加することがあります。

## 16 編入学前の既修得単位の認定等

- (1) 信州大学工学部では、編入生が編入学以前の高等教育機関で修得した科目の単位を、提出された成績証明書とシラバスを基に確認し、それを本学部で履修すべき科目と対応させ、信州大学工学部規程に基づいて審査し、所定の基準を満たす科目を本学部における授業科目として、認定します。
- なお、合格した場合は入学手続時に、在籍時のシラバスを提出していただきます。
- (2) 編入生については、本学の修業年限のうち2年間を既に在学したものと取り扱い、編入学後の在学期間は2年以上、4年以内となります。

## 17 個人情報利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用いたします。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

## 18 入試情報の開示

---

(1) 志願者数, 合格者数

平成30年8月以降(予定)に信州大学工学部ホームページ「入試情報」に掲載

(2) 第3年次編入学試験の過去問題

数学……試験問題

※面接の内容は開示しません。

平成30年8月以降(予定)に信州大学工学部ホームページ「入試情報」に掲載

(3) 個人情報

試験成績

・一般選抜……総合点

・推薦選抜……総合点

① 請求者 : 受験者本人

② 開示方法 : 郵送

③ 請求時期 : 平成31年5月13日(月)～5月17日(金) 必着

④ 開示時期 : 平成31年5月下旬

⑤ 請求方法 :

「入試情報開示請求願」に所要事項を記入し, 開示請求先に郵送してください。

※ 受験者本人であることを確認するため, 受験票を必ず添付してください。

※ 返信用封筒[長形3号(12cm×23.5cm)に郵便番号, 住所, 氏名を明記し, 簡易書留料金を含む402円分の切手を貼ったもの]を同封してください。

⑥ 開示請求先 : 〒380-8553 長野市若里4-17-1 信州大学工学部入試事務室 026-269-5055

## 19 障害等のある方の事前相談

---

この募集要項により入学を志願する方で, 障害〔別表参照〕等のために, 受験上及び修学上の配慮を必要とする方は, 出願の前に, 下記事項を記載した書面(様式は問いません。)を提出してください。なお, 重度の障害のある方は, できる限り早い時期に相談してください。

※ 書面の形式は問いませんが, 本学のホームページ(入試情報/編入学入試/障害等のある方の事前相談)から申込様式をダウンロードいただけます。(http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/)

(注) 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器, 松葉杖, 車椅子等を使用して受験する場合も, 試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので, 事前に相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき, 受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので, 障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 提出期限 平成30年5月7日(月)まで

(2) 書面に記載する内容

① 志願者の氏名, 住所, 電話番号

② 出身学校名

③ 志願する選抜区分(一般・推薦の別)と学科名

④ 障害等の種類・程度(現に治療中の方は, 医師の診断書を添付してください。)

⑤ 受験上の配慮を希望する事項

⑥ 修学上の配慮を希望する事項

⑦ 出身学校でとられていた修学上特別な配慮

⑧ 日常生活の状況

(3) 提出先及び問い合わせ先

信州大学工学部入試事務室 〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1 電話 026-269-5055

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

[別表]

区分	障害の程度
視覚障害	良い方の目の矯正視力が0.15以下のもの、両眼による視野について視能率による損傷率が90%以上のもの、その他視覚に関する配慮を必要とするもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発達障害	自閉症スペクトラム障害、自閉症、アスペルガー障害、広汎性発達障害、学習障害、注意欠如・多動性障害等のために配慮を必要とするもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上の配慮を必要とする程度のもの

## 20 その他

(1) 平成31年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した方が、所定の要件を満たすことができなかった場合には、入学を許可いたしません。

(2) 信州大学は、本学以外の学校教育法に定める学校及び放送大学学園法で設置する大学と本学において、双方の学校に正規学生としての身分を持つことはできません。他大学に在学中の方が合格された場合は、平成31年3月31日に在学中の大学を退学していただくことになります。

(3) 学科からの諸連絡

入学生には、授業等で常時携帯して使用するために各学科で指定した、ノート型パソコンを入学時に準備していただいています。

購入手続及びパソコンの仕様等詳細につきましては、入学確約書を提出した方に対し平成31年2月送付予定の入学手続書類に同封いたします。

# 「志願票・受験票・写真票」記入上の注意事項

- 1 記入例を参考に、太い枠内にはっきりと記入してください。  
(黒のボールペン又はインクで記入してください。誤って記入した場合は、訂正箇所を二重線で消してください。)
- 2 ※印欄は記入しないでください。
- 3 文字は楷書で記入してください。

## 志願票 記入例

### 平成31年度 信州大学工学部 第3年次編入学 志願票

受験番号	※
------	---

学科名一覧
物質化学科
電子情報システム工学科
水環境・土木工学科
機械システム工学科
建築学科

志望学科	電子情報システム工 学科
------	--------------

フリガナ	コウガク ハナコ
氏名	工学 花子

(外国人留学生は、パスポートに記載の英字氏名)

生年月日	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10年 6月 1日生 (西暦)	性別	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>
------	---	----	--

(外国人留学生は、西暦で記入)

選抜区分	<input checked="" type="radio"/> 一般選抜 ・ 推薦選抜
------	--

出願資格	出身学校	<input checked="" type="radio"/> 国立 公立 私立	若里工業	<input checked="" type="radio"/> 高等専門学校 短期大学 大学 学校	学部 電気電子工 <input checked="" type="radio"/> 学科
	卒業等年月	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 31年 3月	卒業(修了) <input checked="" type="radio"/> 卒業(修了)見込	大学退学予定 [__年次在学中] 大学退学 取得 ・ 取得見込	

受信場所 (連絡先)	〒000-0000	電話	026-XXXX-XXXX
	長野県〇〇市〇〇1-2-3	携帯電話	080-XXXX-XXXX
	メールアドレス (一般選抜の方のみ)	XXXXXXXX@XXX.XX.XX	

緊急の際 の連絡先 (父母等)	氏名	工学 太郎 (本人との関係： 父 )	電話	同上
	住所	〒 同上	携帯電話	090-XXXX-XXXX

平成31年度 信州大学工学部 第3年次編入学 志願票

受験番号	※
------	---

志望学科	学科
------	----

フリガナ	
氏名	

(外国人留学生は、パスポートに記載の英字氏名)

生年月日	昭和・平成 (西暦)	年 月 日生	性別	男・女
------	---------------	--------	----	-----

(外国人留学生は、西暦で記入)

選抜区分	一般選抜 ・ 推薦選抜
------	-------------

出願資格	出身学校	国立 公立 私立	高等専門学校 短期大学 大学 学校	学部 学科
	卒業等年月	学位授与機構	昭和 年 月 卒業(修了) 平成 年 月 卒業(修了)見込	大学退学予定〔_年次在学中〕 大学退学 取得・取得見込

受信場所 (連絡先)	〒		電話	
			携帯電話	
	メールアドレス (一般選抜の方のみ)			

緊急の際 の連絡先 (父母等)	氏名	(本人との関係： )	電話	
	住所	〒	携帯電話	

【裏面の履歴書も記入してください】

【受験票・写真票の写真について】

- ・上半身、無帽、正面、背景なしとしてください。
- ・縦4cm×横3cm枠なしとしてください。
- ・白黒・カラーは問いません。
- ・出願前3か月以内に撮影したものを使用してください。
- ・眼鏡の有無、髪型等試験場で不審を抱かれる写真を用いないでください。
- ・受験票・写真票とも同じ写真を使用してください。

# 履 歴 書

学歴	学校名・所在地	修業年限	入学及び修了等 年月
小 学 校	学校名	年	入学 年 月
	所在地		修了 年 月
中 学 校	学校名	年	入学 年 月
	所在地		修了 年 月
高等専門学校	学校名	年	入学 年 月
	所在地		卒業(見込) 年 月
高等学校	学校名	年	入学 年 月
	所在地		卒業 年 月
短期大学	学校名	年	入学 年 月
	所在地		卒業(見込) 年 月
大 学	学校名	年	入学 年 月
	所在地		<在学中> 年 月
	学校名	年	入学 年 月
	所在地		修了等 年 月
	学校名	年	入学 年 月
	所在地		修了等 年 月

[注] 1 小学校から最終学校まで年代順に詳しく記入してください。

2 外国人留学生については、日本語の学習歴（日本語学校等）がある場合も記入してください。

	会社名等	入・退社日
職歴		年 月 日
		～ 年 月 日
		年 月 日
		～ 年 月 日
		年 月 日
		～ 年 月 日

[注] 社会人経験等のある方は記入してください。

# 自己申告書

※

志望学科

氏名

出身学校等名

学科

—記入要領—

なぜあなたは上記志望学科で学びたいと思われましたか。大学では何を勉強し、それを大学卒業後の人生でどのように生かしたいと考えていますか。以上についてこれまでのあなたの生活を振り返りながら自由に述べてください。

- 注意
- ※印欄は記入しないでください。
  - 黒色の筆記用具(鉛筆可)を用い、はっきりと読みとれるように自筆で作成してください。
  - この用紙で足りなければ別の用紙を付け加えてください。
  - 中学校卒業後、所属又は卒業した学校、自治体、各種団体からなんらかの賞を受けた方は、その旨を記載するとともに、受賞を証明するものを添付してください。

## 推薦書

平成 年 月 卒業見込

被推薦者氏名 \_\_\_\_\_

平成 年 月 日生

上記の者は、貴学部の実施される編入学にふさわしい  
ものと認め、 \_\_\_\_\_ 学科に責任を持っ  
て推薦いたします。

平成 年 月 日

信州大学工学部長 殿

立 高等専門学校

学校長 氏名 \_\_\_\_\_

印

学校所在地 \_\_\_\_\_

以下の事項は、担任（指導）教員が記入してください。

担任（指導）教員名 \_\_\_\_\_ 印

1 人物

2 学業

(裏面へつづく)

学業成績順位				
1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年
(何番) (何人中)	(何番) (何人中)	(何番) (何人中)	(何番) (何人中)	(何番) (何人中)
/	/	/	/	X

(注) 1 ※印欄は記入しないでください。

2 記入の際には、裏面の「記入要領」を参照してください。



## 2 学業 (つづき)

## 推薦書記入要領

本人の「人物、学業、課外活動や資格等特筆すべき事項」については、ただ単に「はじめである」、「よく活動する」というような概評的・抽象的な記入ではなく、より具体的に、事実に基づいて記入してください。

- 1 人物  
具体的に記入してください。
- 2 学業  
授業中における態度、勉学の自発性、計画性、持続性、理解力及び創造的思考能力等につき具体的に列挙して記入してください。  
また、学業で特に良い成績の科目があればその内容について具体的に記入してください。
- 3 課外活動や資格等特筆すべき事項  
生徒会、クラブ活動、ボランティア活動、各種の資格等勉学以外の特筆すべき優れた活動について、具体的に記入してください。  
(備考 記入欄が不足した場合には、適宜、別に用紙を用いてください。)

3 課外活動や資格等特筆すべき事項があれば記入してください。

信州大学工学部 第3年次編入学

出願資格証明書

(④専修学校専門課程又は⑧高等学校等専攻科の課程修了・修了見込者用)

■志願者について

下記の者は、本校において修業年限が2年以上であり、かつ、課程の修了に必要な総授業時間が1700時間以上である専修学校専門課程又は高等学校等専攻科の課程を

【修了した・修了見込みの】者である。

本人現住所等	〒 _____ ( ) _____		
ふりがな		性別	男・女
氏名		生年月日 (留学生は西暦)	昭和 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 西暦
本校入学前の学歴			
昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 立	高等学校 卒業		
昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 立	専修学校 _____ 高等課程修了		
その他(高卒認定合格等) 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ ( )			

■本校の教育課程について

専門課程名		分野	工業 農業 医療 衛生 教育 福祉 商業
学科名			服飾 家政 理美容 その他 ( )
上記の者は「専門士」の称号を付与【された・される見込みの・されない】者である。			

上記記載事項について、証明する。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

学校所在地

学校名

学校長名

印

一般選抜

出願資格⑦の方のみ

信州大学工学部 第3年次編入学

## 在学期間証明書

学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

上記の者は下記のとおり在学して  $\left[ \begin{array}{c} \text{いる} \\ \text{いた} \end{array} \right]$  ことを証明します。

記

入学年月日 平成 年 月 日

退学年月日 平成 年 月 日 (退学者のみ記入)

在学年次 第 年次

休学期間の有無 有 ・ 無

\* 「有」の場合, その期間

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

平成 年 月 日

大学・学部名

学長 (学部長) 名

印

# 記入例

- (注意) 1. 太枠内に日付、住所、氏名等を記入してください。  
 2. 郵便局(ゆうちょ銀行)を除く金融機関から振り込んでください。(ATM、パソコン、携帯電話等からの振込みは行わないでください。)  
 3. 金額を訂正したもの、鉛筆書きしたもの、金融機関の収納印がないものは無効となります。  
 4. 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認してください。  
 5. 入学検定料納付確認書(A票)は他の出願書類とともに提出してください。

日付、氏名、住所を記入してください。  
大学への提出用となります。

## A票 (大学提出用) 平成31年度 入学検定料納付確認書

一般・推薦選抜 共通

依頼日	平成 ○年 ○月 ○日
フリガナ	コウガク ハナコ
志願者氏名	工学 花子
〒	000-0000
住所	長野県〇〇市〇〇1-2-3
	TEL 026-XXX-XXXX

- 金融機関(郵便局[ゆうちょ銀行]を除く。)の収納印がない場合は無効となります。
- 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。

学部コード	日程コード
T	5

取扱金融機関収納印



3ヶ所押印

下記のとおり入学検定料として納付いたしました。

金額	¥ 30000
----	---------

信州大学

(振込み後、自分で切り離してください。)

## B票 (志願者保管用) 平成31年度 入学検定料領収書

(大切に保存してください)

依頼日	平成 ○年 ○月 ○日
フリガナ	コウガク ハナコ
志願者氏名	工学 花子
〒	000-0000
住所	長野県〇〇市〇〇1-2-3
	TEL 026-XXX-XXXX

- 金融機関(郵便局[ゆうちょ銀行]を除く。)の収納印がない場合は無効となります。
- 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。

学部コード	日程コード
T	5

取扱金融機関収納印



3ヶ所押印

下記のとおり入学検定料として領収いたしました。

金額	¥ 30000	手数料	
----	---------	-----	--

信州大学

(金融機関で切り離してください。)

振込み後、金融機関の収納印があることを確認してください。

日付、氏名、住所を記入してください。  
領収書ですので、本人が保管してください。

## 電信扱

平成31年度  
入学検定料

## 振込依頼書 (取扱店保存)

勘定科目 ※

取扱金融機関へお願い

振込期間 平成30年 5月 7日 ~ 平成30年 5月 18日

依頼日	平成 ○年 ○月 ○日	振込指定	普通 1 7 5 2 8 1 3	電信扱	金額	¥ 30000
受取人	振込先銀行	みずほ銀行 松本支店		現金		
	口座名	コクリツダイガクハウジンシンシユウダイガク		内訳		
ご依頼人	学部コード	日程コード	志願者氏名(カタカナ)	他店券		
	T	5	コウガク ハナコ			
	志願者氏名(漢字)		工学 花子			
住所	〒	000-0000	長野県〇〇市〇〇1-2-3	取扱金融機関収納印	※	
			TEL 026-XXX-XXXX			

カタカナで氏名を記入してください。

氏名、住所を記入してください。

3ヶ所押印

## C票

**A票** (大学提出用) 平成31年度 入学検定料納付確認書

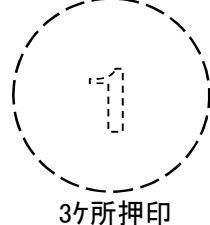
依頼日	平成 年 月 日
フリガナ	
志願者氏名	
〒	
住所	
TEL	- -

※

1. 金融機関(郵便局 [ゆうちょ銀行]を除く。)の収納印がない場合は無効となります。
2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。

学部コード	日程コード
T	5

取扱金融機関収納印



下記のとおり入学検定料として納付いたしました。 \_\_\_\_\_ 銀行

金額	千円	円
¥ 30000	00	00

\_\_\_\_\_ 支店

3ヶ所押印

信州大学

(振込み後、自分で切り離してください。)

**B票** (志願者保管用) 平成31年度 入学検定料領収書

(大切に保存してください)

依頼日	平成 年 月 日
フリガナ	
志願者氏名	
〒	
住所	
TEL	- -

1. 金融機関(郵便局 [ゆうちょ銀行]を除く。)の収納印がない場合は無効となります。
2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。

学部コード	日程コード
T	5

取扱金融機関収納印



下記のとおり入学検定料として領収いたしました。 \_\_\_\_\_ 銀行

金額	千円	円	手数料	円
¥ 30000	00	00		

\_\_\_\_\_ 支店

3ヶ所押印

信州大学

(金融機関で切り離してください。)

**電信扱**

平成31年度 振込依頼書 (取扱店保存)

勘定科目	※
------	---

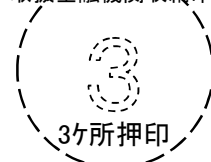
取扱金融機関へお願い

入学検定料 振込期間 平成30年 5月 7日 ~ 平成30年 5月 18日

学連部のコード・日程コードは氏名・頭部に  
さとの間には打電して打電してください。  
のコード・日程コードは氏名・頭部に  
のコード・日程コードは氏名・頭部に  
のコード・日程コードは氏名・頭部に

依頼日	平成 年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	円
振込先銀行	みずほ銀行 松本支店	普通 1752813	金額	¥ 30000	円
受取人	口座名	コクリツダイガクハウジンシンシユウダイガク		現金	
		国立大学法人信州大学		内訳	
ご依頼人	学部コード	日程コード	志願者氏名(カタカナ)	当店券	
	T	5		他店券	
	志願者氏名(漢字)				
〒	住所				
TEL	- -				

取扱金融機関収納印

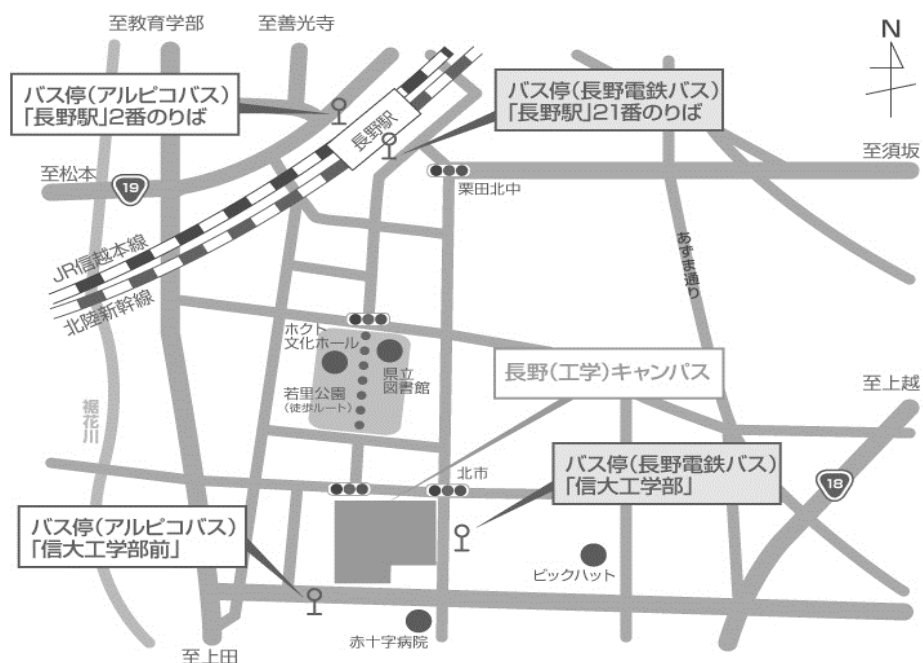


※

**C票**

信州大学

# 信州大学工学部試験場への交通案内



## ■長野電鉄バス利用の場合

JR長野駅東口21番のりばで、長電バス「日赤線」に乗車（5分）、バス停「信大工学部」で下車。

## ■アルピコバス利用の場合

JR長野駅善光寺口2番のりばで、アルピコバス「日赤経由大塚南行き」「松岡行き」「ビッグハット行き」のいずれかに乗車（8分）、バス停「信大工学部前」で下車。

## ■徒歩

JR長野駅東口から、徒歩20分

キャンパス内の詳細マップはWEBで…

信州大学工学部

検索

発行： 信州大学 工学部 入試事務室（平成30年1月）

〒380-8553 長野市若里4-17-1 TEL (026) 269-5055  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>